

大障教ニュース

大阪府立障害児
学校教職員組合
大阪市天王寺区
東高津町7 11
府教育会館704号
(TEL)6765-8904
(FAX)6765-8905

黙ることは未来をあきらめること

憲法が輝く新しい政治を！

5・3のおおさか 総がかり集会に1万8千人



一斉にプラカードを掲げる参加者

憲法記念日の5月3日全国各地で「戦争法(安保法制)」の発動や、共謀罪法案の強行を許さない」と訴える集会やデモが多彩にとりくまれました。大阪ではアベ政治を終わらせよう！憲法こわすな！5・3のおおさか総がかり集会が扇町公園で開催され、約1万8千人が参加しました。大障教からは、16分会25人が参加しました。

外交が平和と安全を守る道

主催者あいさつを行った丹羽徹さん(大阪憲法会議・共同センター幹事長)は、国民の多くが生きていくことで精一杯だった終戦直後に、「二度と戦争をしない。自由に物事を考え表現できる。こんな憲法を国民の多くは歓迎し、希望の光を見ていたのではな

いか」と述べました。伊賀興一さん(大阪弁護士会共謀罪対策プロジェクトチーム座長)は、リオデジャネイロ五輪に安倍首相自身がマリオに扮して登場し、「世界に日本ほど安全な国は無い」と言っていたことを痛烈に皮肉りました。その安倍首相が今、日本がテロの標的になるのか、よつに不安を煽り立てているが、「戦争法を廃止し平和外交を進めること。これが日本の平和・市民の安全を守る道だ」と訴えました。その上で、「共



大障教の旗を掲げて
パレードに参加しました

私たちの周りを変えていこう

各分野からの訴えでは、朴亜悠さん(関西市民連合)、安居裕子さん(子ども未来を考えるママの会)、木村真さん(森友学園問題を考える会・豊中市議)等が発言しました。朴さんは、今年大学を卒業して社会人となった自身の生活を振り返り、「自分の生活に

謀罪」の4度目の廃案をめざして国会閉会まで力を合わせて頑張ろう」と参加者に呼びかけました。

集会には、民進党、日本共産党、社民党、生活の党の4野党代表も参加しました。野党の代表は、「共謀罪」反対、森友学園疑惑の徹底究明などで野党と市民の共同をさらに進め、安倍内閣を解散・総選挙に追い込み勝利するために、全力を尽くしていく」と連帯あいさつしました。

精一杯で、政治に目を向ける余裕の無い人が沢山いるのではないかと感じて「と述べました。そして、「権力を暴走させない役割であるはずの憲法を、権力の暴走によって変えられることを絶対に止めよう。黙ることは、自分の未来をあきらめること。それは、子どもたちの未来をも勝手にあきらめることになる」と力強く訴えました。

また、安居さんは、今の安倍首相の政治では、子どもたちや日本の未来までもが不安になる。一部の大企業や大金持ちばかり優遇され、アメリカのために多額のお金を使い、日本の福祉や教育を削っていく。そんなおかしな状況を解決するために、私たちの周りを変えていこう」と述べました。

参加者は、「コールに合わせて一斉に「憲法こわすな！」「アベ政治N」のプラカードを突き上げました。集会後は3コースに分かれて繁華街をパレードし、「戦争する国絶対反対！」「沖縄新基地絶対反対！」などと訴えました。大障教の参加者は、南森町から天神橋までのコースを元氣よく歩きました。

大障教ホームページアドレス <http://www.1a.biglobe.ne.jp/fushou/> Eメール アドレス : fushoukyou_1@mtb.biglobe.ne.jp



書記局の
ひびりひびり

わが国の長時間労働は、国際的に見ても異常な状況です。半年間で休日が4日しかない状態で働き、自宅で急死した女性会社員のケースが、過労による労働災害と認められたとの報道が、この連休中にもありました。過労死、過労自殺に追い込まれた被害者の家族や労働組合などが、再発防止対策を訴えているにも関わらず、依然として悲劇が繰り返されているのが現実です。

また、総務省が5月4日に発表した15歳未満の子どもの推計人口(4月1日現在)は、1571万人で、前年を17万人下回り、36年連続で減少しています。しかも、年齢が低いほど少ないという深刻な状況です。このような少子化・人口減による労働力の減少についても、政府は対応を迫られているのです。

ところが、安倍政権が今進めているのは、日本経済の「病」への対応を「働き方改革」というオブラートで包み、「病」を治療せずに悪化させようとする政策です。安倍首相を座長とする働き方改革実現会議が、国の過労死認定基準(過労死ライン)である、月100時間「寸前までの残業を認めるなど、その典型です。

実は、働き方改革実現会議のメンバーは、労働組合代表1人に対して経営者側が7人を占め、「企業の成長」を最優先する立場から議論を行ってきました。安倍首相が、世界で一番企業が活動しやすい国にする目的で「働き方改革」を進める背景には、こうした経済界の強い圧力があると云えます。

働く人たちの命をこれ以上脅かす「働き方改革」では、いずれ日本経済は破綻します。人間らしく働くルールを確立する方向への転換が急がれます。

大障教
青年部
主催

熱戦！新歓バレーボール大会！

4月22日、堺聴覚支援学校を会場に、毎年恒例の新歓バレーボール大会を大障教青年部主催で開催しました。今回は旧府障教職場を対象とした大会でしたが、和泉・佐野・和泉・藤井寺・枚方・四條畷・東大阪・堺聴覚・生野聴覚・中津の10校から、計147人が参加しました。

優勝は枚方支援分会

9分会9チームが参加した「ガンガンリーグ」は今年も白熱しました。どの試合も僅差の接戦が続き、どのチームが優勝してもおかしくない状況でした。若いパワーが溢れるチーム、たくさんの声援が響くチーム、ベテランメンバー中心に技術力で勝負するチームなど、それぞれ汗を流しての全力プレーで、とても盛り上がりました。激戦を制して初優勝を勝ち取ったのは枚方支援分会です。昨年度まで5連覇していた佐野支援分会との決勝戦は、どちらも譲らず3セット目まで繰り広げられました。



ソフトバレーボールを使用する「ゆるゆるリーグ」には、7チームが参加しました。交流がメインというところで、どのチームも2試合以上試合をすることができました。日頃は学部が違って接点のない先生同士も、声をかけあつてのチームプレイやラリーが続く、大きな歓声がかかる場面もありました。好プレーや珍プレーも飛び出し、和気あいあいと和やかな雰囲気です。試合を楽しむことができました。

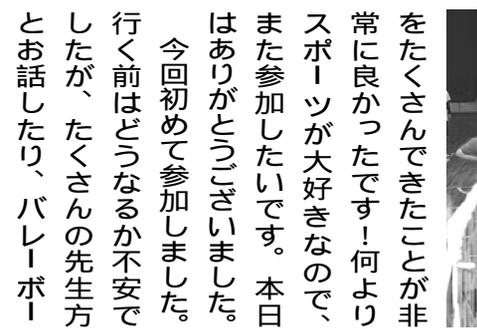
6月4日(日)には、旧市障教職場を対象にしたバレーボール大会を予定していますので、旧市障教職場の皆さんは、是非奮ってご参加ください！



4月14日、アネックスパル法円坂で市内ブロック新転任歓迎のつどいが開催されました。新学期の忙しい中、各分会の呼びかけに

参加者の感想です！

全体の雰囲気がよく、楽しく「ゆるゆるチーム」と「ガンガンチーム」に分かれていたので、全員が全力で楽しむことのできるバレーボール大会だったと思います。私自身もすごく楽しかったです。私は教員一年目なので、普段あまりお話しすることのできない先生方と同じチームで戦うことができ、大変嬉しかったです。他の学校の先生方とお話することができなかつたので、バレーをするという交流だけでなく、他の交流もできればもっと嬉しかったです。ありがとうございました。



生方と同じチームで戦うことができ、大変嬉しかったです。ただ、他の学校の先生方とお話することができなかつたので、バレーをするという交流だけでなく、他の交流もできればもっと嬉しかったです。ありがとうございました。今回初めて参加しました。行く前はどうなるか不安でしたが、たくさん先生方とお話したり、バレーボールしたりすることで、交流が深まりました。普段交流のない先生とも話せてよかったです。久しぶりにスポーツできてリフレッシュもできました。楽しかったです。

今年度、大障教はブロック別に「新転任歓迎のつどい」を行いました。その様子を順次紙面で紹介します。

第1回 「市内ブロック」(旧市障教)

新転任者13人を含む50人の参加者で盛大に歓迎！

こたえ、9分会13人の新転任者を含む50人が参加、にぎやかなアットホームな歓迎会となりました。戸田委員長の歓迎のあいさつに続き、岡村副委員長が「ぜひとも仲間になっていただき、よりよい大阪の支援学校を築いていくためにとにもがんばっていききたい！」と力強く述べて乾杯の発声をしました。テーブルごとにしばらく歓談したあとは、分会紹介を行いました。各分会からの、「はじめの支援学校にカルチャーショックがいっぱい」「このような集まりに来るとホッとします」などの発言に拍手が続きました。その後、ゲーム大会、支援学校ふわふわことばビンゴ！で盛り上がり、用意した商品は次々に無くなりま

した。ゲームの後は、参加者全員で、手話を交えた「じ」の大会となり、つどいはおひらきになりました。チラシを見て参加してくれた方がその場で組合に入、大教済に7人が加入してくれました。このつどい、新転任の皆さんは組合の楽しさや存在意義、元気な雰囲気を感じていただけたことと思います。